

# ちやいむ

NO. 108

2016年 4月 15日 発行

社会福祉法人 しあわせ会 白州いずみの家  
〒408-0515 山梨県北杜市白州町白旗 8458  
TEL 0551(58)5524 FAX 0551(58)5528  
発行責任者 施設長 岡田 万朝  
URL <http://www.comlink.ne.jp/~izumi-ie/>  
E-mail [izumi-ie@comlink.ne.jp](mailto:izumi-ie@comlink.ne.jp)

## もくじ

- 巻頭文：「苦悩はむしろ幸せを招く」 ……1
- 特集：2016年度 白州いずみの家は？ ……2
- 研修報告  
白州いずみの家からお知らせ ……6
- 新任職員紹介 ……7
- 2016年度利用者嗜好調査 ……8
- ありがとうございます ……8

## 3月 自治会 ボーリング



スベア！ストライク！  
順位も気になりますが、  
みんなで楽しくボーリングをしました！



## 「苦悩はむしろ幸せを招く」

社会福祉法人しあわせ会 理事長 齋藤 實

いかなる業種の職業人にも、成長する為には忍耐と寛容の精神が求められる。

特に福祉介護に毎日従事している職員には、強く求められる大切な精神である。

しかし、福祉の介護現場は、施設介護であれ家庭内介護であれ当事者にとっては日々切実な課題に追われ、ストレスの解消に苦勞している現状がある。

何が人に精神的な成長をもたらすのかを、真剣に探し求める必要がある。

そのひとつが「訓練」である。訓練は、人生の問題を解決するにも、災害対策の為にも手段であり、訓練なくして問題は解決しないのである。人生を困難にするのは、問題に直面した時、それを解決するプロセスが苦しくなるからである。この過程にこそ人生の意味が存在するのであり、問題や課題が存在する事が勇気と英知を呼び起こす事を自覚すべきである。精神的な成長を促すには、問題解決能力を促す事が大切である。その手段は、他人の苦しみを引き受けられるようになることである。しかし、人間は苦しみから逃げ、問題を避けようとする。そのうちに問題が消える事を期待し、決断を長引かせ、問題を無視し、忘れようとする。

訓練を苦しみや問題に取り組むためには、楽しみをあとまわしにし、責任ある仕事を引き受け、言動を誠実に、バランスを豊かにすることである。

苦しみは、むしろ幸せをもたらし、成長を与え、さらに人生を力強く歩むために訓練が必要になるのである。「我に七難八幸を与えたまえ」と。



## 2016年度 白州いずみの家は？

特集



人ねっこアート展  
と  
織のなかま展  
の  
様子



利用者のみなさんができる限り楽しく充実した生活を送ることができるよう、みなさん一人一人がしあわせを感じることができるよう、また、地域のみなさんのための施設であるために、白州いずみの家は少しずつ変わっていています。

さて、今年度いずみの家はどのように変わっていくのでしょうか

・・・

### 全体目標・方針

- 施設整備計画の推進と円滑な支援体制の確保
- プロジェクトチームによる支援体制の抜本的見直し
- 総合的かつ有効的なリスクマネジメントの実施
- 職員の研修体制の充実
- 地域との連携の強化
- 関連法令、地域情報等の情報収集と対応

2016年度は3年越しの施設整備計画を進めていく中で、高齢化に向けた体制を整備していきます。工事期間中は利用者の生活や活動に一部制約がかかることも予想されるので、ストレスなく安全な生活環境を維持できるように努めていきます。また、施設整備を契機に今までの日課、活動内容等の支援を抜本的に見直す若手職員中心のプロジェクトチームを立ち上げ、利用者の実態や福祉の潮流に合致したいずみの家を考えていきます。

一方で、福祉就職率の低下から職員の人材確保が難しい状況が生まれてきています。そんな中で今年度は基本的な労働環境を整えていくとともに、職員配置や研修等でより働きやすくやりのある職場を創っていきます。（文責：サービス管理責任者 有賀弘）

### 利用者のしあわせのための個別支援について(ケース会)

今年度もケース会は、利用者の「しあわせ」について考えていきます。それぞれのケースの抱える問題の解決に話題の中心を置くのではなく、利用者が現在、また将来「しあわせ」を感じながら生きていくために、何に取り組んだら良いのかを利用者の「ストレングス」に着目し、話し合っていきたいと考えています。また各ケースの一人一人の縦断的な取り組みを、利用者全員の共通項として横断的な取り組みとできるように、各セクションに提案していく役割を果たしていきたいと思っています。

今年度は近年充実してきた月々の目標達成の進捗状況の確認、修正、フィードバックに加え、各職員からの提案事項を充実させていきます。具体的には「一人一人の利用者に対する提案」「利用者全体に関する提案」「研修報告」を考えています。限られた時間で行っていた定例の話し合い以外の場を設けることで、職員が普段感じている思いや悩み、有効な支援が共有できることを目的としています。

今年度予定されている大規模修繕による支援の変更にも柔軟に対応できるようにしていきます。各セクションと連携を取りながら、利用者の負担を出来る限り軽減し、より快適な生活ができるよう臨機応変な取り組みを随時提案していきたいと考えています（文責：支援スタッフ 深沢 浩樹）

## 利用者の日中の活動への支援について(日中活動グループ)

昨年度は、従来通り利用者の目標やニーズに即した活動を目指してきました。その結果、多くの個人の取り組みが重視された内容を提供できたと思います。「しごと」では、集団としてはウォーキングに専念できたり、家事的な取り組みが確保されました。しかし、外仕事グループの活動の細分化や、午後到家事的な活動の固定化により、当初計画した木工グループの活動が充実できませんでした。

また、ここ数年活動グループとしての一体感が薄れてきたとも感じられます。その解消に向けて、織り・りょうほうのメンバーを1グループ設定し、それ以外は屋内(木工、ジャム作り等)、屋外(薪、畑等)のグループを能力、嗜好、相性等を考慮した2つのグループの体制で進めるべく計画しました。細分化より、ダイナミックな枠組みで活動を行なうことで、職員間の技術の伝承、利用者及び職員の安全面の強化を狙います。特に職員の機械・道具の使い方においては、研修を強化し、一切の事故・怪我が発生しない体制を重視していきます。

また、今年度は予定されている大規模修繕に伴い、日々の活動が制約されたり、変更を余儀なくされたりすることが増えると予想されます。より柔軟に対応していく必要が求められます。そのような状況であっても日中活動に関する内容は、現状維持のサービスを提供できるように努めていきます。

(文責：支援スタッフ 鳥部 祐二)

## 利用者自治会の年間目標について

今年度の活動内容は、従来通りの清掃活動とレク活動に加え、芸術活動を取り入れていきます。清掃活動は大掃除として年に2回実施します。レク活動では、花見・運動会・新年会などを行なう予定です。自治会役員は昨年度から継続して、会員や自治会役員の自主性を尊重しながら支援していきます。

(文責：支援スタッフ 小林 貴一)

- ①みんなと仲良く自治会をする。
- ②自治会の活動ではみんなで助け合う。
- ③みんなが楽しめるように盛り上げる。

## 利用者の生活への支援について(生活支援グループ)

昨年度の反省・課題を踏まえ、業務内容を再度見直し、生活支援グループ内の全体把握と連携力を強化していきます。更に、職員個々の責任感を磨いて積極的に活動していく一年にしたいと考えています。

大規模修繕においては、昼夜を問わず安全で心身ともに健康で、少しでも快適な生活が送れるよう、利用者の身になった支援に向け、他のセクションとも連携しながら取り組んでいきます。また、ひとりひとりのニーズを大切にしながら、高齢化・夜間・豊かな生活などに向けた支援についても、これまで以上に充実できるよう取り組んでいきたいと思っています。(文責：支援スタッフ 原 永輝)

## 利用者への食事提供と栄養管理について(調理部)

今年度も高齢化に向けて食形態や提供方法、献立の内容などについて研究・実践・提供を行います。各セクションとの連携をとりながら、利用者の実態にあった食事を提供するために柔軟に対応していきたいと思っています。また引き続き季節ごとの旬の食材を取り入れ季節を感じることでできる食事、家庭的でおいしく楽しい食事の提供を継続していきます。嗜好調査の結果を参考にしながら利用者の嗜好にも配慮していきます。好評である誕生日メニューや選択メニューも継続します。年間を通じて業務標準を基に衛生管理を徹底し、安心・安全な食事を提供していきます。また調理職員同士、連携をしっかりととり、より良い食事の提供に努めていきたいと考えています。利用者さんに「おいしかった」と笑顔になってもらえるような食事が提供できるよう日々頑張ります。(文責：栄養士 竹本 奈緒)



## 利用者の安全管理について（安全管理委員会）

今年度は大規模修繕が予定されているため、利用者、職員の安全や衛生に関しては臨機応変に素早く対応、発信をしていきたいと思っております。既存のリスクマネジメントガイドラインは、運用、見直しを重ねながら、あらゆるリスクに対応した実用的なものに作り変えていきます。誰もが分かりやすい、見やすい形にすることで、リスクへの対応を強めていきます。

防災対策では、通常の火災や地震時の避難誘導訓練に加え、新規に危険予知訓練（危険を察知する力を身につけるトレーニング）、感染症対策訓練等の実践形式の訓練を計画しました。また災害時の初期対応、基礎知識が不足しているという反省から、各職員の習得を目指してまいります。

昨年度、新任職員の重大事故が発生したことを受け、安全に業務が実施できるように業務標準の見直し・検証、OJTを行ってまいります。同時に新任、若手職員の教育や、業務実施状況の確認を強めてまいります。

安全管理については、重大事故・インシデント事例の共有化を図り、意識を保てるようにしていきます。さらに危険予知訓練、発生事例の要因分析方法の研修等を実施して各職員の能力向上に努めてまいります。（文責：支援スタッフ 立花 太一）

## より良いサービスの提供のためのチェック体制について（サービス改善委員会）

利用者がより快適でニーズに合致したサービスが提供できるように、サービスの改善・向上を目指します。今年度は、ケース担当・各セクションからの吸い上げにも力を入れてまいります。

高齢化対策を中心に据えた大規模修繕については、自費工事と補助対象工事に分け実施する予定です。工事中には様々な制約が求められますが、利用者の安全確保と不自由の少ない生活環境を提供できるよう調整してまいります。業務標準では前年度、各会議での提案内容を業務標準をベースに検討しました。システムは浸透したので、今年度は、それを徹底できるように取り組みます。

第三者評価の実施では、評価結果を各セクションに還元し、改善提案を行います。職員研修の配置と実施後のフォローアップ（面談等）については、前年度の反省を元に研修内容が効率的に利用者サービスに反映できるようにします。さらに大規模修繕後の設備の運用と支援体制を抜本的に見直すチーム（プロジェクト7）を作り、修繕終了時には具体的な見直し案を作成し、2017年度に実施できるようにします。（文責：支援スタッフ 平井 成一）

## 2017年以降の施設運営について（プロジェクト7）

3年越しの高齢化対策を中心に据えた大規模修繕は、国庫補助が決まれば2016年度中に着工予定です。それに伴い、大規模修繕完了後の設備等の運用や高齢化が進む現状の日課や活動の在り方・職員体制についても抜本的に見直す必要があります。若手職員を中心にプロジェクトチームを編成し10年・20年後を想定する中で「良い施設を創る」「利用者にとって幸せな施設」「職員にとっても働きがい、誇りを持てる施設」という理念のもと、メンバー間で率直に議論・検討し、施設のこれからの自信を持って担っていけるような改革ができるよう取り組みます。修繕完了時には、具体的な見直し案を提示し、2017年度には実施できるようにします。（文責：支援スタッフ 平井成一）

## 利用者の権利擁護について（人権擁護部）

人権擁護部は、利用者の人権・職員への人権意識啓発のための活動を中心に取り組んでいきます。障害者権利条約や障害者差別解消法等、障害者にまつわる状況は一変し、条約や法律に対応した現場への変化が必要です。

今年度は合理的配慮の事例検討・積み重ねを行い、利用者支援を通して具現化をすることで施設サービスの見直しにつなげていきたいと考えています。積極的な権利擁護活動も行なっていきます。さまざまなテーマを取り上げ、職員会議でミニ研修として実施し、職員の人権意識の保持、共有に努めてまいります。また、コンプライアンスの周知を定期的に行ってまいります。さらに職員のモチベーションや、やりがいを高める取り組みや研修も重視し、日々気持ちよく仕事に臨めるようにしていきます。

（文責：支援スタッフ 立花太一）

## 地域との交流について(地域交流部)

今年度、地域交流部では昨年度に引き続き、より充実したボランティアの方々や実習生への対応を行うと共に、施設内外の行事の運営について管理を行うことで、利用者が地域の人たちと交流することや、地域のイベントを楽しむことを支えていきたいと考えています。また、大規模修繕に伴い施設内の設備が一部使えなくなるを見越して柔軟かつタイムリーな対応を行うことで、ボランティアや実習生に対して昨年度と比べて遜色の無い受け入れ体制を維持していきます。

(文責：支援スタッフ 木村浩二)

## 広報活動について(広報部)

今年度も機関紙「ちやいむ」といずみブログ、ホームページを中心に、白州いずみの家の広報活動を行います。その中で特にホームページやブログ等の定期的な整備に力を入れていきたいと考えています。また広報活動の中に利用者の方にも参加できる機会を作り、一緒になって施設内の広報・美化に努めていきます。機関紙「ちやいむ」についても作業の効率化、質の維持を図れるよう努めていきます。

(文責：支援スタッフ 小林 貴一)

●いずみBLOG：http://izumi-ie.jugem.jp/

●ホームページ：http://www.comlink.ne.jp/~izumi-ie/

## 利用者の健康管理と高齢化対策について(看護部)

集団感染の恐ろしさは全職員常に感じています。看護部は感染症の外部流入を防ぐとともに、施設内での流行を早期に終息させる努力をしていきます。また職員は心身ともに自分の健康を整え、利用者の健康を守るように支援します。

利用者の高齢化対策では、毎週の機能訓練や日々の活動で体の機能を維持するとともに、精神面での変化にも対応できるよう知識・技術を深めていきます。引き続き調理部と連携して「おいしく安全に食べる」ことを目指していきます。

その他の活動については例年通り行っていきます。健康相談では体調のこと以外に利用者の想い、言葉を汲み取り、不安や気になることの解消を目指します。また、疾病等の早期発見及び適切な対応に心がけ健康的な生活を送ることで生活の質の向上を目指します。各セクションと連携して健康の維持・増進に努めていきます。(文責：看護スタッフ 山田 美代子)



## 相談支援事業について

障がいを持たれた方が安心して暮らしていくために必要となるサービスや制度の説明、サービスの利用方法等の相談に乗り、ご本人を取り巻く関係を常に調整しながら生活を支援していくことを目的としています。

まず、ご本人の生活状況をアセスメントし、働くことを目的としているのか、生活で手伝ってほしいことや何を希望されているのかご本人・ご家族と話をします。但し、一度の相談で答えが出ることは少なく、適した事業を紹介するには、行政・医療機関・各事業所とも連携を図ります。その上でプラン(計画)を立てその状態が維持できているかモニタリング(確認)していくことになります。また、プランは一つに留まらずニーズに応じて何度でも繰り返し作成します。

相談支援専門員はご本人が選択した生活の場において、困りごとや要望等をコーディネート(調整)する役割となります。そして地域にあるサービスに固定せず、ニーズに応じてあらゆる角度から地域課題を抽出し、ご本人に代わって発信する役割も兼ねていると私は考えます。(文責：相談支援専門員 宮沢 健一)



## ～研修報告～

- ・リスクマネージャー養成研修（立花）11/4～6
- ・医療安全とリスクマネジメント（佐々木）11/7
- ・看護師職能研修会（山田）11/16
- ・メンタルヘルス研修（佐々木）11/17
- ・強度行動障害実践研修（有賀）11/25～26
- ・虐待防止研修（古屋）11/26
- ・東社協事務職員向け研修（小澤）11/27
- ・栄養管理研修会（竹本）11/29
- ・東社協新任職員研修（鈴木、滝島、板山）11/30
- ・つるかかわ学園施設見学（竹本、奥石）12/22
- ・東社協施設における看護職の役割（山田）1/9
- ・東社協事例報告会（木村）1/23
- ・個別支援計画研修（立花）1/23～24
- ・メディケアフーズ展（竹本、奥石）1/26
- ・サポート山梨介護研修（鈴木、板山）1/30
- ・看護師職能研修会（山田）2/13
- ・東社協事務研修（小澤）2/23
- ・OJT研修（有賀、平林）2/23～24
- ・東社協新任職員研修（鈴木、滝島）2/24
- ・発達障害者研修（高山）2/27



### 「個別支援計画」作成および運用に関する研修会

生活支援員 立花太一

1月23日～24日の二日間、個別支援計画作成に関わる研修会に初めて参加させていただきました。ほとんどの時間を利用者のニーズの整理、サービス等利用計画書の作成、個別支援計画書の作成に費やし、特に作成にあたってのグループディスカッションを通してさまざまな討議を交わすことができ非常に意義ある研修となりました。

障害者支援施設に勤めて8年目、利用者の個別支援計画作成に携わってきましたが、色々悩むこともたくさんありました。昔は一生懸命で“個別支援計画って何？”“目標って何？”と考えながら将来のビジョンは持たずにその場その場の支援計画を作っていたように感じます。それがしばらくして、そもそも“自分に目標や将来の設計図がないのに人の目標を決めるなんて…”、“人の人生に口出すのはおこがましい”など感じるようになりました。さらには個別支援計画を作るには、自分自身の成長やそれ相応の人生観や倫理観…など、欠かせないなどひしひしと感じていました。自分がサービスを提供する職員として、それが仕事なんだ、と感じながらも一方で戸惑いを隠せない自分がいたのは事実です。

しかし、未だに戸惑いを感じながらも、こういった研修を通して思うのは、じゃあ誰がその人にとっての必要なことや、しあわせ、楽しい望む暮らしを考えるのか、ということ。あ、それは今研修に参加している自分なんだ…この周りにいて一人の利用者のニーズや個別支援計画のために“あーだこーだ”言い合っている人たちなんだ、というのを再認識させられます。

いろいろ考え込むことなく、割り切ってやろう、自分の人生も考えながら人の人生も考えていく、一緒に成長し応援していく、その気持ちや姿勢で今後から臨もうって感じる今日この頃です。一緒に成長し応援していく、その気持ちや姿勢で今後から臨もうって感じる今日この頃です。1年後に少しでも、本人が望む暮らしに変化するよう、本人にとって、本人中心のサービス等利用計画をもとに個別支援計画を作成していきたいと思います。



## お知らせ

12月に佐野奈央職員、相山久子職員、3月をもちまして古屋竜人職員、山本美佐子職員が退職されました。利用者、職員ともに楽しいひと時を過ごすことができ、ありがとうございました。お疲れさまでした。



皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。短い間でしたが、ありがとうございました。



非常勤ですが、調理員として皆さんと関わることができました。ありがとうございました。



5年間、利用者、職員と過ごしたとても楽しい思い出ができました。思い出を胸にこれからも頑張ります。



福祉の世界に携わることができ、いろいろな意味で視野が広がったと思います。11年間、ありがとうございました。



## 新任職員紹介

2016年春より、新たに3名の職員が入社しています。



生活支援員  
小松 英喜

初めまして。4月から白州いずみの家で働かせて頂くことになりました。小松英喜です。一生懸命頑張り沢山の事を学びたいと思います。わからない事も沢山あり迷惑をかける事もあるとは思いますが皆さん、よろしくお願ひします。



生活支援員  
飯野 友美

4月から職員として働かせていただく、飯野友美です。絵を描くことが好きで、美術部に所属していました。絵を描くことを通して利用者の皆様と関わることができたらうれしいです。毎日の活動や生活習慣が楽しんで行えるよう、私自身努力していきたいです。よろしくお願ひします。



非常勤 調理員  
沢田 良恵

2月より調理としてお世話になっている沢田良恵です。毎日利用者の皆様に「美味しい」と言ってもらえるような食事を提供できるよう一日でも早く慣れていきたいです。仲良く、楽しく、頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



白州いずみの家では、利用者の皆さんの好みを融立に反映するために、年に一度、聞き取り調査を行なっています。また、聞き取りの際にはより分かりやすいように写真を皆さんに提示して、お好きな料理を選んでいただくようにしています。今回は季節のお料理。さて、結果は…。

### < 春料理部門 >



#### 山菜の天ぷら



13票

春はやっぱり山菜だね！

- |    |                |    |
|----|----------------|----|
| 2位 | ちらし寿司          | 9票 |
| 3位 | ロールキャベツ        | 4票 |
| 4位 | 筍ご飯            | 3票 |
| 5位 | 菜の花とトマトの Pasta | 2票 |

### < 秋料理部門 >



#### さつまいもの蒸しパン



12票

- |    |            |    |
|----|------------|----|
| 2位 | キノコの Pasta | 7票 |
| 3位 | 栗ご飯        | 6票 |
| 4位 | カツオのたたき    | 5票 |
| 5位 | 秋刀魚の炊き込みご飯 | 1票 |

### < 夏料理部門 >



#### 冷やし中華



13票

山菜の富士料理、ほろとろ！  
皆の大人気！

- |    |         |    |
|----|---------|----|
| 2位 | ざるそば    | 7票 |
| 3位 | 冷しゃぶサラダ | 5票 |
| 4位 | 麻婆ナス    | 5票 |
| 5位 | ジャージャー麺 | 1票 |

### < 冬料理部門 >



#### ほろとろ



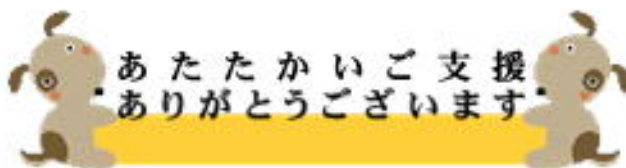
11票

- |    |            |     |
|----|------------|-----|
| 2位 | ビーフシチュー    | 10票 |
| 3位 | すき焼き煮風     | 6票  |
| 4位 | カニご飯       | 4票  |
| 5位 | 白菜と肉団子のスープ | 0票  |



季節のお料理  
までー！！





あたたかいご支援  
ありがとうございます

施設や法人にご支援をいただいた方のお名前を紹介します。(順不同・敬称略)

## 施設に寄付を頂いた方のお名前 (2015.11.1~2016.3.31)

井上 誠次 藤田 照子 武田 一成 園部 心一 池田 佐和子 越前谷 晴代 鈴木 むつ子  
鈴木 紘一 前田 利彦 名取 章子 近藤 安弘 前村 嵩 大久保 厚子 井形 佐知子  
竹沢 猛彦 大輪油店 武川歯科 吉川 良 浅川 季 小田切 年男 篠田 美佐子  
美容室VIP 小池理容店 長寿者クラブ フラワーファーム坂爪

## 法人に寄付を頂いた方のお名前 (2015.11.1~2016.3.31)

鶴巻 克雄 笠原 順子 中村 嘉宏 赤井 文弥 山田 忠之 松原 昭 松村 美佐子  
稲垣 恵造 山田 俊男 橋本 辰夫 鈴木 紘一 長島 正明 吉岡 武 森沢 那智子  
若山 祥夫 政本 武彦 松倉 公子 吉崎 純二 中川 和子 佐藤 守 安沢 昭二郎  
馬渡 一浩 外山 好孝 前田 利彦 赤間 克己 大塚 一雄 水野 貞 川手 正一郎  
木村 一昭 前村 逸男 志賀 正武 山田 善弘 福田 剛 横山 正 竹中 カズ工  
杉山 錦子 増井 将久 竹沢 猛彦 一瀬 正志 続 訓弘 中島 聡 小野満 禎子  
藤田 清士 市井 敏夫 須貝 徳成 福山 久代 南 直哉 小田切 年男 古尾谷 喜兵  
(株)カンノ (株)日本テス しあわせ会後援会

### テリー通信 vol.32



殆どどの人は課題を色々用意して、自分の学びのために生まれてくる。

魂のレベルの違う人々や、嗜好の全く違う人たちと出会い、大いに悩み苦しみながら、答えを見つけるために一生を費やす。中には、課題を思い出すこともなく一生を終える人もいる。

少数ではあるが、他の人々の学びのために生まれてくる人がある。尊い魂である。師として直接指導に当たるケースもあれば、人々の悟りを促す働きをするケースもある。

困難や障害の中の人生を生き抜くことで、人々に感動を与えたり、又関わりの中で人々の学びや気づきをサポートする役割を担ったりもある。現象面に捉われないように、常に己を律することが大事である。

障害者差別解消法が4月から施行される。これを契機に、今までとは全く別の視点があっても良いのでは

どっちがどっちを守ってきたのか、どっちの成長をたずけてきたのか、うわべだけでは知る由もない。  
「どっちがどっち？」(どっちも!)

### 苦情解決窓口実施状況

2015年11月~2016年3月  
までの相談件数

- 対利用者 0件
- 対職員 3件
- その他 0件

#### 《第三者評価結果》

ホームページに掲載しています。

<http://www.eps4.comlink.ne.jp/~izumi-ie/>

### 編集後記

すっかり温かくなりました。春ですね。この時期は無性に桜を見たくくなります。桜餅、桜ソフトクリーム、桜カフェラテ…あれ、食べ物は足りなくなってしまいました。(HAKU)